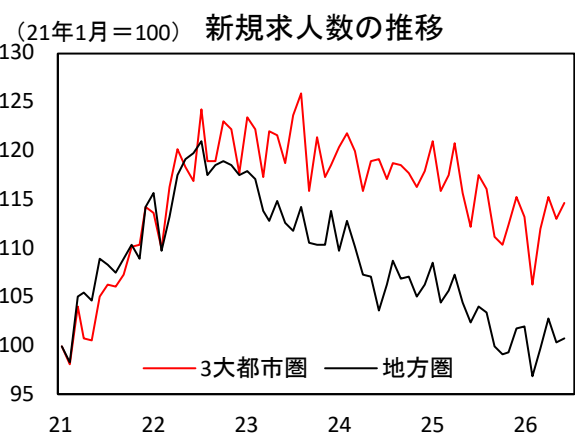
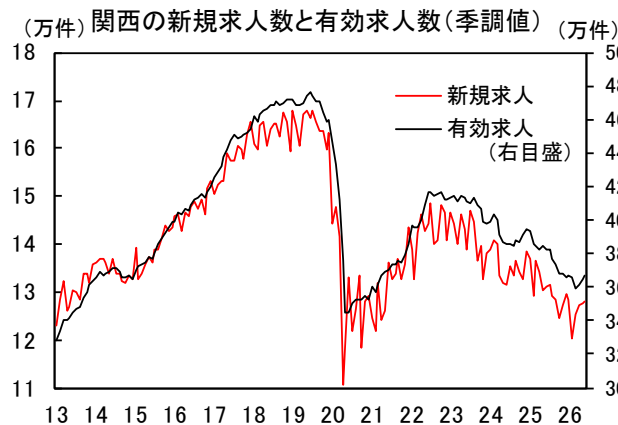
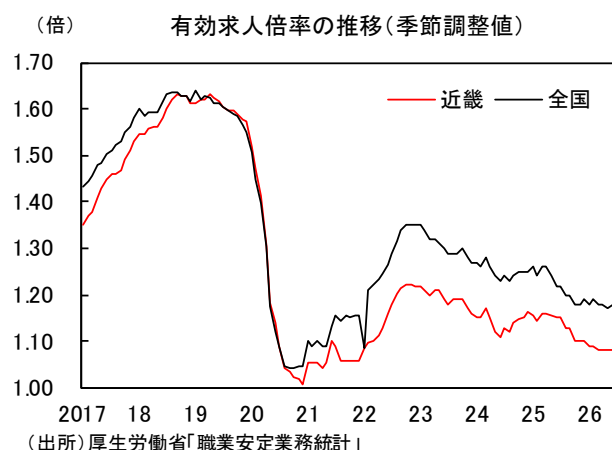
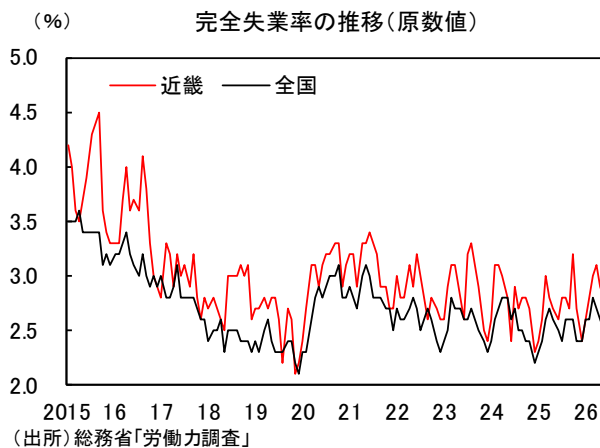


関西の景気ピックアップ【雇用関連（26 年 6 月）】

- 26 年 6 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 2.8%（原数値）と、前年比で 0.2 ポイントの上昇となった。失業率が前年を上回るのは 3 か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で 12 万人の増加で、失業者は 1 万人の増加、非労働力人口は 11 万人の減少となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、26 年 6 月は 1.08 倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。足元の動きについては、25 年 5 月の 1.16 倍をピークに緩やかな低下傾向が続いている。
- 直近の雇用市場では、深刻な人手不足の状況に変化はないものの、有効求人倍率の低下傾向がみられる。この背景には主に求人数の減少があるが、地域ごとの動きでいえば、大都市圏よりも地方圏の方が顕著となっている。これには、人件費をはじめとするコストの上昇による、中小企業の求人出し渋りなどが指摘される中、この動きは地方圏が中心となっている可能性が高い。



本件照会先:大阪本社 荒木秀之
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp